

国分寺町明生大学 公開セミナー

おむすび山と防災

讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長
香川大学特任教授・名誉教授

長谷川修一

受講
無料

なぜ国分寺は盆栽の里なのか、鷲ノ山周辺で石材業が盛んだったのか、NHKの「ブラタモリ」や「とち知り」で案内人を務めた講師が大地の成り立ちから国分寺と歴史と防災を深堀します。大地の成り立ちから地域を理解することは、防災だけでなく、地域への愛着につながるのです。

日時 2024年 **9月12日(木)**
10:00~11:20

会場 高松国分寺ホール
〒769-0104 高松市国分寺町新名430番地

定員 **30名** 参加費無料 **要申込**
※明生大学学生以外

申込 **7月15日(月・祝) 10時より**
窓口・お電話にて受付開始

※定員に達し次第受付を終了させていただきます

お申し込み・お問い合わせ先
高松国分寺ホール

〒769-0104 高松市国分寺町新名430番地

TEL 087-875-0162 (受付時間 9:00~17:00)



講師 長谷川 修一

香川大学特任教授・名誉教授
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長
東京大学大学院で地質学を専攻。
四国電力(株)を経て、2000年から香川大学工学部・創造工学部で応用地質学に関する教育・研究等に従事。
NHKブラタモリの案内人4回の経験を活用した防災と観光をセットにした「ブラハセ」を各地で展開。香川県全域のユネスコ世界ジオパーク登録をめざして、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長として活動中。

主催：国分寺南・北コミュニティセンター

共催：高松国分寺ホール指定管理者 (日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体)